

判明

判断

入院・療養

《診療・検査医療機関》
《県保健科学研究所》
《PCR検査センター》等

☑PCR等による検査



陽性

《保健所》

☑内科的症状聞き取り
“疫学調査票”
☑産科的症状聞き取り
【妊婦】追加聞き取りシート



*産科的適応の判断
いずれかに該当
・妊娠37週以降※1
・性器出血有
・下腹部痛有
・陣痛有

《保健所》又は
《県入院調整本部》

◎産科的適応“あり”

☑入院先の調整

◎産科的適応“なし”

☑医学的適応なし

☑医学的適応(※2)あり

《保健所》

☑搬送(車両)調整

《保健所》

☑入院・療養先の判断
☑搬送(車両)調整
☑妊婦のかかりつけ医療機関に
協力依頼



判断

共有

《妊婦のかかりつけ医療機関等》



※1 妊娠37週以降は原則入院。例外として、
かかりつけ医を含めた各産科医療機関の判断で外来管理とするのは可。ただし、外来
管理を許可した医療機関等で分娩を引き受
けることが決まっている場合に限る。

※2 医学的適応あり・・・
凝固障害あるいは静脈血栓症が疑われる場合
など

・妊婦のかかりつけ医等による医学的適応に応じ
た検査の実施
⇒ 入院、宿泊、自宅療養の判断
(保健所と情報共有)



入院① ※1

入院①

入院②

宿泊療養

自宅療養

《産科併設コロナ受入病院》

☑内科的観察・治療
☑産科的観察・治療

《産科なしコロナ受入病院》

☑内科的観察・治療
☑血液(血小板等)検査

《宿泊施設の看護師・医師》

☑内科的観察

《保健所》
《療養支援センター》

☑内科的観察

産科的観察・治療が必要

入院①又は外来診療

《妊婦のかかりつけ医療機関》

☑電話等による産科的観察
・10カウントテストの指導等
・頻度は症例の背景・症状に応じ判断



《熊本大学病院 総合周産期母子医療センター》

☑電話での診療助言

※相談窓口

☎096-373-7046



(参考) 変更前

陽性妊婦の対応方針

取扱注意

令和4年1月21日現在

判明

判断

入院・療養

《診療・検査医療機関》
《県保健科学研究所》
《PCR検査センター》等

☑PCR等による検査



《保健所》

- ☑内科的症状聞き取り
“疫学調査票”
- ☑産科的症状聞き取り
【妊婦】追加聞き取りシート

*産科的適応の判断
いずれかに該当
・妊娠37週以降
・性器出血有
・下腹部痛有
・陣痛有

《保健所》又は
《県入院調整本部》

◎産科的適応“あり”

☑入院先の調整

◎産科的適応“なし”

☑トリアージ先の調整

《保健所》

☑搬送(車両)調整

《保健所》

- ☑入院・療養先の判断
- ☑搬送(車両)調整
- ☑妊婦のかかりつけ医療機関に
協力依頼



判断

共有

～妊婦のトリアージ判定基準～
SpO₂ ≤ 95%※ ⇒ 酸素管理のため入院
(※気管支喘息に準じる)
・血小板数 ≤ 15万/μl ⇒ 産科へ外来診療又は入院①

◎妊娠32週未満の場合

《外来診療可能医療機関(産科の有無問わず)》

- ☑産科的トリアージ
↳☑血液(血小板、D-ダイマー)検査
又は

《コロナ受入病院(産科の有無に関わらず)》

- ☑中和抗体療法(適応判断→投与)
- ☑産科的トリアージ
↳☑血液(血小板、D-ダイマー)検査

◎妊娠32週以降 37週未満の場合

《産科の外来診療可能医療機関》

- ☑産科的トリアージ
↳☑血液(血小板、D-ダイマー)検査
↳☑分娩監視装置での胎児モニタリング
又は

《産科併設コロナ受入病院》

- ☑中和抗体療法(適応判断→投与)
- ☑産科的トリアージ
↳☑血液(血小板、D-ダイマー)検査
↳☑分娩監視装置での胎児モニタリング



入院①

入院①

入院②

宿泊療養

自宅療養

《産科併設コロナ受入病院》

- ☑内科的観察・治療
- ☑産科的観察・治療

《産科なしコロナ受入病院》

- ☑内科的観察・治療
- ☑血液(血小板等)検査

《宿泊施設の看護師・医師》

- ☑内科的観察

《保健所》
《療養支援センター》

- ☑内科的観察

《妊婦のかかりつけ医療機関》

- ☑電話等による産科的観察
(10カウントテストの指導等)

《熊本大学病院 総合周産期母子医療センター》

- ☑電話での診療助言

※相談窓口

☎096-373-7046(24時間)

産科的観察・治療が必要

入院①又は外来診療

トリアージのために外来診療※短期入院も可